

病院データは
“宝の山”!

特集

データ分析に基づく 看護マネジメント

日々の数字を根拠に、現場を改革するために



医療・看護サービスへのニーズの増大，それを支える人的パワーの減少，ひっ迫する国の財源状況など，病院を取り巻く環境は厳しさを増しています。病院看護部にも運営の効率化および生産性向上が迫られています。また，各地域の事情に応じた地域包括ケアシステムのさらなる最適化と住民の生活を守るための質保証も求められています。

こうした中，将来を見通したマネジメントを適切に行うために，データや数値などの根拠に基づく議論や意思決定が必須です。現状を把握し，解決の方向性や目標を共有することで組織が一丸となった業務遂行が可能となるでしょう。

本特集では，「重症度，医療・看護必要度」を中心に，病院データを分析するための基礎知識と，データに基づき病棟・看護部の改善につなげるための考え方について事例を通じて紹介します。データ分析に苦手意識を持つ読者にも，分かりやすく解説することを目指します。